

令和 6（2024）年度 4 月入学

April 2024 Admission

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

Graduate School of Human and Socio-Environmental Studies
(Master's Course), Kanazawa University

学 生 募 集 要 項

Guidelines for Applicants

〔第 1 期募集・第 2 期募集〕

一 般 選 拔
社 会 人 特 別 選 拔
外 国 人 留 学 生 特 別 選 拔
短 期（1 年）在 学 型 選 拔
学 内 推 薦 特 別 選 拔

General Selection

Special Selection for Working Adults

Special Selection for International Students

Selection for the Short-term (1 Year) Enrollment-type System

Special Selection by Recommendation for Applicants within the School



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

令和6(2024)年度4月入学入試日程

| 専攻 | 第1期募集 | | | | | 第2期募集 | | | | |
|---------|--|---------|------------|-------------|----------|--|---------|------------|-------------|----------|
| | 【出願期間】 令和5(2023)年 5月22日(月)～5月26日(金) | | | | | 【出願期間】 令和5(2023)年 12月11日(月)～12月15日(金) | | | | |
| | 【試験日】 令和5(2023)年7月1日(土) | | | | | 【試験日】 令和6(2024)年2月3日(土) | | | | |
| | 【合格者発表】 令和5(2023)年7月31日(月) | | | | | 【合格者発表】 令和6(2024)年2月22日(木) | | | | |
| | 一般選抜 | 社会人特別選抜 | 外国人留学生特別選抜 | 短期(1年)在学型選抜 | 学内推薦特別選抜 | 一般選抜 | 社会人特別選抜 | 外国人留学生特別選抜 | 短期(1年)在学型選抜 | 学内推薦特別選抜 |
| 人文学専攻 | ● | ● | ● | / | / | ● | ● | ● | / | / |
| 経済学専攻 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 地域創造学専攻 | ● | ● | ● | ● | / | ● | ● | ● | / | / |
| 国際学専攻 | ● | ● | ● | / | / | ● | ● | ● | / | / |

- 注1 出願資格によっては、出願前に出願資格審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出期間は、下記のとおりです。詳細は、5出願資格事前審査を確認してください。
 第1期募集：令和5(2023)年5月12日(金)まで、第2期募集：令和5(2023)年10月30日(月)まで
- 注2 試験日及び試験科目等の詳細については、9選抜方法及び10試験日時を確認してください。
- 注3 「国際学専攻」の英語プログラムは、本要項とは別に学生募集要項を作成しています。必要な方は人間社会環境研究科webサイト(http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/)からダウンロードしてください。

(注意)

出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

(新型コロナウイルス感染症に関する本学大学院入学試験における対応)

今後の状況の変化により、急遽、入試実施日、選考方法も含めて変更等が生じる場合があります。その場合は、人間社会環境研究科Webサイトでお知らせします。

『自然災害により被災された志願者の皆様へ』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会を確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細につきましては、金沢大学Webサイトを確認ください。

金沢大学(入試情報)Webサイト：<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>
 入学検定料の免除を希望される方は、出願前に本学学務部入試課までご連絡ください。



目 次

| | | |
|----|------------------------------------|----|
| 1 | 人間社会環境研究科（博士前期課程）について | 1 |
| 2 | 学生受入方針（アドミッション・ポリシー） | |
| | 【一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜，学内推薦特別選抜】 | 2 |
| | 【短期（1年）在学型選抜】 | 5 |
| 3 | 募集人員 | 6 |
| 4 | 出願資格 | 6 |
| 5 | 出願資格事前審査 | 8 |
| 6 | 出願期間 | 8 |
| 7 | 出願手続 | 9 |
| 8 | 受験票の印刷 | 14 |
| 9 | 選抜方法 | |
| | （1）一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜 | 14 |
| | （2）短期（1年）在学型選抜 | 25 |
| | （3）学内推薦特別選抜 | 25 |
| 10 | 試験日時 | 25 |
| 11 | 合格者発表 | 26 |
| 12 | 入学手続 | 26 |
| 13 | 授業料等納付金 | 26 |
| 14 | その他 | |
| | （1）英語外部検定試験の受験について | 27 |
| | （2）標準修業年限 | 27 |
| | （3）大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度 | 27 |
| | （4）長期履修制度 | 27 |
| | （5）障がいのある者等の事前相談 | 28 |
| | （6）金沢大学独自の奨学金制度（外国人留学生対象） | 28 |
| | （7）外国人留学生日本就職促進プログラム | 28 |
| | （8）注意事項 | 28 |
| | （9）過去の試験問題の公表 | 29 |
| 15 | 個人情報の保護 | 29 |
| 16 | 問合せ先 | 29 |
| 17 | 参考資料 | 30 |
| 18 | 担当教員一覧 | |
| | （1）人文学専攻 | 31 |
| | （2）経済学専攻 | 34 |
| | （3）地域創造学専攻 | 35 |
| | （4）国際学専攻 | 37 |

令和6（2024）年度4月

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）学生募集要項

1 人間社会環境研究科（博士前期課程）について

人間社会環境研究科は2006年4月に発足しました。本研究科の目的は、グローバル化、情報ネットワーク化、少子高齢化等の急速な進展に伴い、「人間」「社会」に関する既存の専門分野（人文学、経済学）並びに「環境」という概念で包括される学際的な分野（地域創造学、国際学）の知見をふまえた総合的な研究・教育のニーズに応えようとするところにあります。また、現代社会及び人々の様々な問題を理解し、解決する手段を持つ専門家を養成します。

人間社会環境研究科の3つの目標を述べましょう。第一に、専門的知識、方法、技術を修得し、政策立案と問題解決能力を有した高度専門職業人の育成及び自国の発展と国際交流に寄与できる人材の養成です。これは、社会が大学院教育に求める多様なニーズに対応しています。第二に、「人間社会環境」に関する教育研究拠点の形成です。それは、北陸地方はもちろん、日本全国における先駆けとしての学際・総合型の人文・社会系研究を根付かせ、発展させることを意味します。そして第三は、教育研究を通じた地域及び国際貢献であり、社会人学生と留学生の受入の積極的な推進などを通して、大学院レベルでの教育研究の成果を国内外の社会に還元させます。

以下に、専攻及びコース・プログラムの編成と授与する学位を示しますが、わたくしたちの目標は、既存の分野の学問を継承しつつ、現代的問題に的確に対処できる新たな知の営みを創造していくことです。

専攻及びコース・プログラムの編成、授与する学位

| 専攻名 | コース・プログラム名 | 授与する学位（修士） |
|---------|--|------------------------------|
| 人文学専攻 | 学際総合型プログラム（以下5プログラム） 認知科学 ヨーロッパ・東アジア文化圏史 比較文学 ジェンダー学 文化資源学 | 修士（文学） 修士（学術） |
| | 専門深化型プログラム（以下15プログラム） 哲学、心理学、社会学、地理学 日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学 日本語学日本文学、中国語学中国文学、英語学英米文学、 ドイツ語学ドイツ文学、言語学 文化遺産学、比較文化学 | |
| | 公認心理師養成プログラム | |
| 経済学専攻 | 経済理論・政策コース（短期（1年）在学型は、地域政策プログラム） 国際社会・経済コース 経営情報コース（短期（1年）在学型は、経営情報プログラム） | 修士（経済学） 修士（経営学） 修士（学術） |
| 地域創造学専攻 | 地域創造学コース 教育支援開発学コース | 修士（地域創造学） 修士（学術） |

| | | |
|-------|--|-------------------|
| 国際学専攻 | 国際関係・地域研究コース 国際関係学／アジア地域研究／米英地域研究／ヨーロッパ地域研究 日本語教育・日本文化研究コース 日本語教育学・日本語学・日本文化学 | 修士（国際学） 修士（学術） |
|-------|--|-------------------|

2 学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

【一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、学内推薦特別選抜】

はじめに

人間社会環境研究科（博士前期課程）は、「人間」「社会」「環境」という多分野横断的な領域で活躍できる創造性豊かな人材の養成をめざします。したがって、研究科はそれぞれの学問分野における高い専門的能力を有するだけでなく、それを基礎に、学際性・総合性を生かした視点から先端的な研究をさらに進めようとする学生を求めます。

さまざまな経歴・志向を持った学生を受け入れるために、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、英語による特別選抜、そして学内推薦特別選抜と、多様な選抜方法を実施します。また、受験機会を増やすために、選抜方法によっては第1期と第2期に分けて2回の試験を行います。

一般選抜では、大学卒業後に入学を希望する学生を主な対象として、将来的に研究者を志望する者、幅広く専門的知識を修得する者や専門的職業人をめざす者、等について十分な学力と資質が備わっているかを判定します。社会人特別選抜では、大学卒業後、一定の年限を経過し、社会人として様々な経験と知識を蓄積してきた人を対象に、一定の学力の有無や問題意識の明確性等について判定します。そして、経済学専攻及び地域創造学専攻では、社会人が職業上の経験に基づく研究課題に取り組み、在学期間1年で修了することを基本とする短期在学型の志望者の選抜を行います。外国人留学生特別選抜では、様々な国からの留学希望者を対象に、一定の日本語能力および専門的学力について判定します。学内推薦特別選抜は、経済学専攻において実施され、当該専攻に係わりの深い金沢大学の関係学類の学生を対象にして、その成績優良者に筆記試験を免除するものです。英語による特別選抜は、経済学専攻及び国際学専攻においてのみ実施されるもので、英語により出題し英語により解答する選抜方式です。この選抜方式は、外国人留学生のみならず日本人学生をも対象にします。

人間社会環境研究科（博士前期課程）では、人文学専攻、経済学専攻、地域創造学専攻そして国際学専攻の4専攻の下に多様なプログラムとコースが設けられており、入試は専攻単位で実施されます。どのような教育目的・教育目標の下に、いかなる学生を受け入れようとしているのかという点については、以下に専攻別のアドミッション・ポリシーを掲げますので、ご覧ください。

【人文学専攻】

1. 求める人材像

人文学専攻は、人間科学、歴史学、言語・文学、文化資源学に関する特定領域又は横断的新領域について、（1）基礎知識と基礎技能を有し、（2）新しい問題の発見と解決に必要な思考力・判断力・表現力等を持つ、（3）主体的にかつ周囲と協働して学ぶ学生を求めます。入学者選抜試験では、専門科目の筆記試験で主に（1）と（2）を、口述試験で主に（2）と（3）を、また、筆記試験の外国語科目又は専門科目の中で外国語文献の読解能力（一部のプログラムを除く）を評価します。研究者をめざす学生だけでなく、様々な分野での専門的職業人を目指す学生、留学生や社会人を積極的に受け入れます。

※本専攻では、学生の履修の道すじを“プログラム”と呼びます。プログラムには、領域横断的研究領域である「学際総合型」と従来型研究領域である「専門深化型」及び公認心理師国家資格の受験資格を得る

のに必要な学習を行う「公認心理師養成プログラム」の3タイプがあります。「学際総合型」は5プログラム、「専門深化型」は15プログラムによって構成されます。学生は入試時にこれら21のプログラムの中から1つを選択し、入試後はプログラムメニューを中心に履修します。

2. 入学に際し必要な基礎学力

入学を志す学生は、志望する専攻プログラム（専門分野）において学ぶ専門的知識の理解に必要な当該分野の基礎知識、および専門的研究を進めるために必要な基礎的技術を身につけていることが求められます。一般にそれは、志望する研究分野に関する学士課程レベルの専門知識、関連知識、研究技術です。

なお、公認心理師養成プログラムに入学する学生は、公認心理師法第1条の2に定める大学における公認心理師となるために必要な科目を履修し、その単位を修得済（見込み含む）であることを前提とします。大学における必要な科目の単位に不足がある場合、本大学院の公認心理師養成プログラムで大学院における公認心理師となるために必要な科目を履修及び単位修得しても修了後に公認心理師の受験資格を得ることはできません。大学における公認心理師となるために必要な科目の履修及び単位修得状況については、それぞれの出身大学に個別にご確認ください。

【経済学専攻】

1. 求める人材像

経済学専攻は、地域社会や国際社会がかかえる諸問題に対し、強い問題意識を持つ人々の中でも特に経済学あるいは経営学を中心とする領域に関心をもつ者、またはこれらの学問領域に関連して社会や文化、歴史等のあり様に関心をもつ者を求めます。理論的・実証的研究能力の向上を目指す日本人院生・留学生、また社会人としての経験に即した課題に対し経済学あるいは経営学の知見を応用することによって解決策を探ろうとする専門的職業人、実務家も大いに歓迎します。

2. 入学に際し必要な基礎学力

入学者には、(1)経済学や経営学、または関連諸領域の基礎知識と基礎的分析能力、(2)論理的思考力・表現力、(3)研究上必要な英語力及び(4)主体性と積極性、が求められます。

入学者選抜試験では、専門科目の論述試験で(1)と(2)を、英語外部試験のスコアで(3)を、面接試験で(2)と(4)を評価します。

大学院前期課程においては、自らの研究テーマを設定し最終的に修士論文を完成させ論文審査に合格することが最終目標となります。そのため経済学専攻では、経済（マクロ経済、ミクロ経済）や経営に関する事象を理解分析できる基礎知識と論文作成のための論理展開、文章構築能力、および語学力を身につけていることが望まれます。

【地域創造学専攻】

1. 求める人材像

地域創造学専攻は、地域の特性に応じて個別的な解決を導く専門的・学際的な「地域創造力」を備えた高度専門職業人及び研究者の養成を目標としています。地域創造学コースでは地域の諸課題の解決に取り組む人材の養成を、教育支援開発学コースでは学校現場でチームを組んで教育を支援する人材を養成します。

学士課程教育で培った基礎的な地域創造力を伸ばし、地域社会の多様な諸問題に対応できる力を修得する意欲を持った学生の方を受け入れます。また、職場や地域社会で感じている各種の地域課題を客観的・学術的に捉え直し、専門的・学際的な知見から問題解決に役立つ知識と方法の修得を目指す社会人、日本における地域課題とその解決について学び、母国の地域創造のリーダーとして働く意欲を持った外国人留学生の方を受け入れます。

2. 入学に際し必要な基礎学力

自ら研究テーマを設定し、主体的な研究遂行によって修士論文を完成させ、論文審査に合格するために、次の基礎学力と能力が必要です。

- ・研究課題に対する高い関心と深い探究心
- ・研究課題にアプローチする研究分野・領域の基礎的知識
- ・地域の現状を正確に把握する調査と収集した資料を正確に分析する基礎的技術
- ・関連する多分野の文献・図書を読み、多角的かつ批判的に物事を捉える能力
- ・地域に暮らす人々を理解し、繋がり、合意形成を築くための、基礎的なコミュニケーション能力

【国際学専攻】

1. 求める人材像

いずれのコースにおいても、国際社会の諸問題や異文化への強い関心と、実践的な外国語の運用能力を有する人を求めています。

国際関係・地域研究コースでは、外国語コミュニケーション能力をいっそう高めながら、グローバルな視野から人間と社会についての普遍的な真実を探究するとともに、激変する複雑な社会状況の下で諸国民が直面する多様な問題の解決策を考察するカリキュラムにより、国際関係業務において貢献しうる人材を養成する教育を行います。したがって、国際政治経済、比較政治、各地域の文化等の専門知識を有する人を求めています。なお、本コースでは英語による授業を中心に履修を希望する学生のために英語プログラム<International Studies Program>を用意しています。当プログラムは入試も英語で行います。

日本語教育・日本文化研究コースでは、英語を中心とした外国語コミュニケーション能力をいっそう高めるとともに、すでに身に付けた日本語、日本語教育、日本文化等に関する知識と教授能力をより高度化するカリキュラムを提供します。それにより、高度職業人として外国人のための日本語教育に貢献しうる人材、また国際交流分野で活躍する人材を養成する教育を行います。したがって、日本語による豊かなコミュニケーション能力を有し、日本語、日本文化およびその教授法に関する基本的知識を備えている人を求めています。日本語教師経験を有する社会人や外国人留学生も積極的に受け入れます。

2. 入学に際し必要な基礎学力

いずれのコースにおいても、修士論文執筆のための文献検索や資料収集のための基礎的能力を必要とするとともに、学部での卒業論文執筆経験を基礎とした論文執筆のための基礎学力を必要とします。

国際関係・地域研究コースでは、さらに以下のような基礎学力を必要とします。

- ・学部レベルの勉学・研究により他民族・異文化の理解のための探求、実地体験をし、国際社会の諸問題について批判に耐えうる見解を有している。
- ・国際関係業務について貢献しうる知識・能力を有している。
- ・外国人と十分な意思疎通ができる実践的な外国語の運用能力を有している。

日本語教育・日本文化研究コースでは、さらに以下のような基礎学力を必要とします。

- ・入学を希望している専門分野に応じた日本語学、日本語教育学、あるいは日本文化学の基礎的な知識を有している。
- ・日本語教育分野では、日本語教授法の知識と基本的な運用力を有している。
- ・当コースの勉学に必要なレベルの英語力を有するとともに、外国人留学生については、日本語能力試験N1（旧1級）合格レベルの日本語力を有している。
- ・受験者が予定する修士論文のテーマに関して、課題の提示、先行研究、調査内容や収集データの結果及び考察、結論からなるリサーチ・ペーパーを書く能力を有している。

【短期（1年）在学型選抜】

はじめに

人間社会環境研究科（博士前期課程）は、2年以上の在学期間を必要とする標準在学型のほか、仕事を続けながら短期間で修士の学位を取得できる短期（1年）在学型制度を、経済学（経済理論・政策コース及び経営情報コース）そして地域創造学の各専攻に設けています。

短期（1年）在学型制度は、自治体、企業、学校、非営利組織、その他において社会人としての経験をお持ちの方が、それぞれの仕事を通じて育てた問題、関心や蓄積した資料をふまえて、一定の理論的整理を行いながら論文（リサーチペーパー）をまとめることを念頭においています。修了後、後期課程への進学を想定するものではありません。後期課程への進学を希望される場合は、通常の社会人特別選抜に出願してください。

以下、専攻毎の教育研究内容をふまえたアドミッション・ポリシーを掲載しますので、参考にしてください。

【経済学専攻】

1. 求める人材像

経済学専攻の経済理論・政策コース、経営情報コースには、2年以上の在学期間を必要とする標準在学型プログラムの他に、仕事を続けながら、1年間で修士の学位を取得することのできる短期在学型プログラムが設けられています。本プログラムは、地域諸問題や地域政策、あるいは組織運営等にかかわりながら、実践的な調査や統計・計量手法にもとづく分析等によって課題の解明を志す社会人の方を受け入れています。

経済学専攻の短期在学プログラムは、研究課題に応じて下記の2つから選択できるようになっています。どちらのプログラムも、理論的知識と実践的能力を同時に修得できるように科目群が用意されています。

・地域政策プログラム

自治体や非営利組織、企業等で社会人としての経験を持ち、地域問題の解明や地域政策立案に関わる研究に取り組み、実践的能力の向上を目指す方を対象としています。

入学後は<経済理論・政策コース>に所属することになります。

・経営情報プログラム

企業やNPO、自治体等において社会人としての経験を持ち、組織運営やマネジメントにかかわる諸問題の解明と解決にかかわる研究に取り組み、実践的能力の向上を目指す方を対象としています。

入学後は、<経営情報コース>に所属することになります。

2. 入学に際し必要な基礎学力

博士前期課程においては、自らの研究テーマを設定し最終的に修士論文を完成させ論文審査に合格することが最終目標になります。そのため経済学専攻では、経済（マクロ経済、ミクロ経済）や経営に関する事象を理解分析できる基礎知識と論文作成のための論理展開、文章構築能力を身につけていることが望まれます。

【地域創造学専攻】

1. 求める人材像

地域創造学専攻は、地域の特性に応じて個別的な解決を導く専門的・学際的な「地域創造力」を備えた高度専門職業人及び研究者の養成を目標としています。地域創造学コースでは地域の諸課題の解決に取り組む人材の養成を、教育支援開発学コースでは学校現場でチームを組んで教育を支援する人材を養成します。

自治体や企業、非営利組織の職場等において感じている各種の地域課題を客観的・学術的に捉え直し、地域課題解決を学ぶ様々な分野の仲間たちや教員との論理的思考トレーニングやディベート手法等を活用して、業務遂行上必要な技術の修得とキャリアアップを目指す意欲ある社会人の方を受け入れます。

2. 入学に際し必要な基礎学力

・研究対象とする検討課題について、地域社会への高い関心と深い探究心をもって、明確に把握している。

- ・研究対象とする検討課題について、専門的に学修する研究分野・領域の基礎的知識を修得している。
- ・地域の現状を正確に把握するために必要とされる調査分析に関する基礎的な能力を身に付けている。
- ・多角的かつ批判的に物事を捉える能力を養うため、関連する多分野の文献・図書を講読し、幅広い教養を身に付けている。
- ・地域に暮らす人々を理解し、繋がり、合意形成を築くための、基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている。

3 募集人員

[第1期募集、第2期募集とも令和6（2024）年4月入学です]

| 専攻名 | | 第1期募集 | 第2期募集 | 計 |
|---------|--------------|-----------------|-----------|-----|
| 人文学専攻 | 学際総合型プログラム | 8名（※3） | 10名 | 23名 |
| | 専門深化型プログラム | | | |
| | 公認心理師養成プログラム | 5名 | 若干名（※6） | |
| 経済学専攻 | | 3名（※1、※2、※3、※4） | 3名（※1、※2） | 6名 |
| 地域創造学専攻 | | 7名（※1、※3） | 7名 | 14名 |
| 国際学専攻 | | 5名（※3、※5） | 5名（※5） | 10名 |
| 合計 | | 28名 | 25名 | 53名 |

【注】1 募集人員には、4月入学の「一般選抜」、「社会人特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」のほか、下記選抜試験の募集人員（それぞれ若干名）を含みます。なお、※3～5の学生募集要項は、本要項とは別に作成されていますので、詳細は人間社会環境研究科Webサイトを確認ください。

※1：短期（1年）在学型選抜（4月入学）、※2：学内推薦特別選抜（4月入学）、

※3：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜（10月入学）、

ただし、各専攻の4月入学者数が募集人員に達した場合には、当該専攻において10月入学の「一般選抜」、「社会人特別選抜」は実施しません。10月入学の「外国人留学生特別選抜」は上記の場合でも実施します。

※4：数量経済学プログラム（10月入学）、※5：英語プログラム選抜試験（4月入学、10月入学）、

2 公認心理師養成プログラムについては、第1期募集の合格者数が5名に満たない場合にのみ、第2期募集を実施します（※6）。第2期募集の実施の有無は、令和5（2023）年9月中旬に本研究科webサイトにてお知らせします。合格者発表の詳細については、12 合格者発表を確認ください。また、入学後に他プログラム・他専攻から転入することはできません。

4 出願資格

各選抜の出願資格は、以下の各号のいずれかに該当する者及び令和6（2024）年3月31日までに該当する見込みの者。

ただし、下記選抜においては、次の出願資格も満たす必要があります。

社会人特別選抜：令和6（2024）年3月31日までに通算3年以上の職歴を有する者

外国人留学生特別選抜：日本の国籍を有しない者

短期（1年）在学型選抜：令和6（2023）年3月31日までに通算3年以上の職歴を有し、在職する勤務先の所属長等の承諾を受けている者

学内推薦特別選抜の出願資格については、下記を参照してください。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6（2024）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 令和6（2024）年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、出願資格（1）に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6（2024）年3月31日までに22歳に達するもの

学内推薦特別選抜（経済学専攻）の出願資格及び出願要件

- (1) 出願は、第1期募集又は第2期募集のどちらか一方となります。
- (2) 出願時において、金沢大学人間社会学域経済学類4年次に在学し、令和6（2024）年3月31日までに卒業見込みの者であり、かつ、学業成績、人物ともに優れ、指導教員又は本専攻において指導を予定している教員の推薦を受けている者で、(3)の出願要件を満たすもの

(3) 出願要件

- (1) 3年次後期までの専門科目の成績について、通算GPA値が2.2以上となる者
- (2) 卒業までの在学期間が4年を超えない者（ただし、休学期間は除く）
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者

5 出願資格事前審査

4 出願資格の(6)、(9)、(10)、(11)により出願しようとする者は、出願前に個別に出願資格審査を行いますので、下記期限までに次の書類を金沢大学人間社会系事務部学生課入試・学生募集係に提出してください。

第1期募集：令和5（2023）年5月12日（金）まで

第2期募集：令和5（2023）年10月30日（月）まで

なお、郵送の場合は封筒の表に「人間社会環境研究科（博士前期課程）第〇期募集出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。

ア 出願資格事前審査申請書（本研究科所定用紙）

イ 最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書

ウ 最終学校の成績証明書

エ 最終学校の教育課程表及びシラバス又はこれに相当するものの写し

オ 志望理由書（様式随意、800字程度）

カ 研究業績調書（本研究科所定用紙）

キ 実務経験や研究活動の内容を表す書面（様式随意、著書・論文・推薦書等）

ク 返信用封筒（長3封筒に受信場所・氏名を明記し、374円分（速達）の切手を貼付してください。）

【注】1 審査結果は、第1期募集については令和5（2023）年5月下旬までに、第2期募集については令和5（2023）年12月上旬までに通知します。提出された書類は返却しません。

2 外国の学校及び機関等の証明書等には、その和訳若しくは英訳及び説明書を添付してください。

6 出願期間

| 区 分 | 期 間 |
|-------|--|
| 第1期募集 | 令和5（2023）年5月22日（月）9：00～5月26日（金）17：00 |
| 第2期募集 | 令和5（2023）年12月11日（月）9：00～12月15日（金）17：00 |

※1 出願書類は郵送（書留速達又はEMSに限る。）するものとし、上表の期間内に必着とします。

※2 締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、出願期間最終日の前日までの発信局（日本国内）日付印のある書留速達郵便に限り受理します（EMSは除く）。

※3 日本国外に在住している者は、第1期募集については令和5（2023）年5月12日（金）までに、第2期募集については令和5（2023）年10月30日（月）までに、16に記載の問合せ先まで連絡してください。出願書類の郵送方法等について指示します。

7 出願手続

(1) 出願方法

○Web出願の流れ



Web出願システム

Web出願システムへは、本学（入試情報）Webサイト（本学トップページ>入試情報・高大院接続>受験生特設サイト>WEB出願）

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry

からアクセスできます。



② 出願書類の送付先

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課入試・学生募集係（宛名ラベルに印字されています。）

〈注意〉

Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは、完了しません。出願期間内に、証明写真のアップロード及び提出書類の郵送（出願期間内に必着）を済ませ、内容に不備がなかった場合完了とします。

(2) 出願書類等

【注】「②Web出願システムから印刷するもの」及び「③その他必要な提出書類」は、Web出願システムにアップロードする必要はありません。提出書類は全て郵送（書留速達又はEMSに限る。）で提出してください。

①Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

| | |
|---------|--|
| 証明写真データ | <p>Web出願システムで登録及び入学検定料支払後、登録完了メールに記載のURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。</p> <p>（注）志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBの.jpg又はpng形式のデータを使用してください。</p> |
|---------|--|

②Web出願システムから印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）

| | |
|------------|---|
| 出願確認票（提出用） | <p>Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷し、提出してください。</p> <p>（注）出願確認票は、入学検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票（確認用）とは異なるので、注意してください。</p> |
| 宛名ラベル | <p>Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒に貼付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。</p> <p>（注）封筒は、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を使用し、書留速達（又はEMS）で郵送してください。</p> |

③その他必要な提出書類

出願書類用紙は、下記URLに掲載の様式（電子データ）をダウンロードして、A4サイズ用の紙に印刷・作成の上、提出してください。

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト>入試情報>博士前期課程

https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/



| | |
|------------------------|--|
| ①入学志願票 | 本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。 なお、 確認用チェックボックス用紙 もあわせて記載の上、提出してください。 (注) 入学志願票の学歴欄について、出願資格(3)「外国において学校教育における16年の課程を修了した者」として出願しようとする者は、16年間の学歴が分かるよう小学校からの学歴を記入してください。 |
| ②卒業(見込)証明書 (原本のみ受付) | 本研究科への出願資格を満たす大学の卒業(見込)証明書を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語又は日本語による卒業(見込)証明書を提出してください。 大学改革支援・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書(学位授与申請受理証明書)等学位取得に係る証明書全てを提出してください。 |
| ③成績証明書 (原本のみ受付) | 本研究科への出願資格を満たす大学の成績証明書を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語又は日本語による成績証明書を提出してください。 大学に編入学した者は、短期大学又は高等専門学校等の成績証明書もあわせて提出してください。 |
| ④研究計画書 【様式1】 | 本研究科所定の用紙に、入学後の希望研究テーマ、これまでの研究分野、志望の動機、今後の研究計画について、具体的に記入してください。 専攻により字数の指定があります(経済学専攻:1,500字以上)。 1枚で収まらない場合、できるだけ2枚に収めてください。 |

※以下の書類は、該当者のみが提出してください。

| | |
|---|--|
| <p>※一般選抜（経済学専攻、国際学専攻）、社会人特別選抜（国際学専攻）、外国人留学生特別選抜（経済学専攻、国際学専攻）のみ</p> <p>⑤英語外部試験の証明書</p> | <p>【一般選抜及び外国人留学生特別選抜の経済学専攻志願者】 TOEIC(L&R)、TOEFL-iBT(Home Editionを含む)、IELTSのスコアの公式証明書（出願期間最終日から起算して3年以内に実施されたもの）の写しを提出してください。複数の試験を受けている場合は、全ての証明書を提出してください。ただし、TOEIC(L&R)-IP・TOEFL-ITPの成績証明書は使用できません。なお、原本は入学手続き時に提出するものとし、提出書類に不正があった場合は失格とします。</p> <hr/> <p>【一般選抜及び社会人特別選抜の国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際関係・地域研究コースの志願者（第1期、第2期募集） TOEIC(L&R)、TOEFL-iBT((Special) Home Editionを含む) もしくはIELTS のスコアの公式証明書を提出してください。 ・日本語教育・日本文化研究コースの志願者（第1期募集のみ） TOEIC(L&R)、TOEFL-iBT((Special) Home Editionを含む) もしくはIELTS のスコアの公式証明書、又は実用英語技能検定（英検）の合格証明書のコピーを提出してください。 <p>両コースとも証明書の試験時期は問いません。 ただし、TOEIC(L&R)-IP の成績証明書は使用できません。</p> <hr/> <p>【外国人留学生特別選抜の国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際関係・地域研究コースの志願者のみ（第1期、第2期募集） TOEIC(L&R)、TOEFL-iBT((Special) Home Editionを含む) もしくはIELTS のスコアの公式証明書を提出してください。証明書の試験時期は問いません。ただし、TOEIC(L&R)-IP の成績証明書は使用できません。 |
| <p>※一般選抜（人文学専攻、国際学専攻）、社会人特別選抜（国際学専攻）、外国人留学生特別選抜（人文学専攻、国際学専攻）のみ</p> <p>⑥卒業論文</p> | <p>【一般選抜の人文学専攻・国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学専攻・国際学専攻の第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者 卒業論文（写しでも可）又はそれに代わる研究論文もしくはレポート （人文学専攻：2,000字以上、ただし欧文の場合は500語以上 国際学専攻：2,000字以上、ただし欧文の場合は1,500語以上） を4部提出してください（入学後の研究テーマに即した専門知識、研究能力の有無が判断できるものが望ましい）。 <hr/> <p>【社会人特別選抜の国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際学専攻の第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者 卒業論文（写しでも可）又はそれに代わる研究論文もしくはレポート （2,000字以上、ただし欧文の場合は1,500語以上）を4部提出してください （入学後の研究テーマに即した専門知識、研究能力の有無が判断できるものが望ましい）。 <hr/> <p>【外国人留学生特別選抜の人文学専攻・国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学専攻・国際学専攻の第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者 卒業論文（写しでも可）又はそれに代わる研究論文もしくはレポート （人文学専攻：2,000字以上、ただし欧文の場合は500語以上 国際学専攻：2,000字以上、ただし欧文の場合は1,500語以上） を4部提出してください（入学後の研究テーマに即した専門知識、研究能力の有無が判断できるものが望ましい）。 <hr/> <p>【共通：注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語又は英語以外の言語による論文の場合は、日本語又は英語の要約も4部提出してください。 2. 第2期募集の志願者で出願期間には卒業論文が提出前である者は、卒業論文又はそれに代わる研究論文若しくはレポートを出願期間内に提出し、卒業論文提出後に改めて卒業論文を4部提出してください。 |

| <p>※国際学専攻のみ</p> <p>⑦リサーチ・ペーパー</p> | <p>【国際関係・地域研究コースの志願者】</p> <p>・指導を希望する教員の専門科目に従い、以下に定められたリサーチ・ペーパーを作成し、4部提出してください（形式任意）。ただし、第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者は、大学院での研究テーマと密接に関連する卒業論文を提出するのであれば、リサーチペーパーを⑥卒業論文に代えることを認めます。</p> <table border="1" data-bbox="545 456 1420 1193"> <thead> <tr> <th data-bbox="545 456 777 512">専門科目</th> <th data-bbox="777 456 1420 512">リサーチ・ペーパーの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="545 512 777 627">国際関係学</td> <td data-bbox="777 512 1420 627">リサーチ・ペーパーを日本語(5,000字程度)、もしくは英語(2,000ワード程度)で事前に提出してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="545 627 777 741">アジア地域研究</td> <td data-bbox="777 627 1420 741">リサーチ・ペーパー(5,000字程度)を日本語で事前に提出してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="545 741 777 949">米英地域研究</td> <td data-bbox="777 741 1420 949">リサーチ・ペーパーを日本語(5,000字程度)、もしくは英語(2,000ワード程度)で事前に提出してください(その際、入学後研究を進めるため不可欠な英語文献について必ず言及すること)。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="545 949 777 1193">ヨーロッパ地域研究</td> <td data-bbox="777 949 1420 1193">リサーチ・ペーパー(5,000字程度)を日本語で事前に提出してください(リサーチ・ペーパーには、志願者が入学後研究を進めるため不可欠なドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の文献につき必ず言及すること)。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【日本語教育・日本文化研究コースの志願者】</p> <p>・志願者が予定する修士論文のテーマに関するリサーチ・ペーパー(5,000字程度、日本語で記述すること)を4部提出してください。</p> <p>(注) リサーチ・ペーパーとは、課題の提示、先行研究、調査内容や収集データの結果および考察、結論からなるものを指します。④研究計画書とは異なるものです。</p> | 専門科目 | リサーチ・ペーパーの内容 | 国際関係学 | リサーチ・ペーパーを日本語(5,000字程度)、もしくは英語(2,000ワード程度)で事前に提出してください。 | アジア地域研究 | リサーチ・ペーパー(5,000字程度)を日本語で事前に提出してください。 | 米英地域研究 | リサーチ・ペーパーを日本語(5,000字程度)、もしくは英語(2,000ワード程度)で事前に提出してください(その際、入学後研究を進めるため不可欠な英語文献について必ず言及すること)。 | ヨーロッパ地域研究 | リサーチ・ペーパー(5,000字程度)を日本語で事前に提出してください(リサーチ・ペーパーには、志願者が入学後研究を進めるため不可欠なドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の文献につき必ず言及すること)。 |
|---|--|------|--------------|-------|---|---------|--------------------------------------|--------|--|-----------|---|
| 専門科目 | リサーチ・ペーパーの内容 | | | | | | | | | | |
| 国際関係学 | リサーチ・ペーパーを日本語(5,000字程度)、もしくは英語(2,000ワード程度)で事前に提出してください。 | | | | | | | | | | |
| アジア地域研究 | リサーチ・ペーパー(5,000字程度)を日本語で事前に提出してください。 | | | | | | | | | | |
| 米英地域研究 | リサーチ・ペーパーを日本語(5,000字程度)、もしくは英語(2,000ワード程度)で事前に提出してください(その際、入学後研究を進めるため不可欠な英語文献について必ず言及すること)。 | | | | | | | | | | |
| ヨーロッパ地域研究 | リサーチ・ペーパー(5,000字程度)を日本語で事前に提出してください(リサーチ・ペーパーには、志願者が入学後研究を進めるため不可欠なドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の文献につき必ず言及すること)。 | | | | | | | | | | |
| <p>※14条特例適用希望者のみ</p> <p>⑧在職証明書【様式2】</p> | <p>本研究科所定の用紙により、勤務先の所属長等が作成(在職期間明記)したものを提出してください。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>※短期(1年)在学型選抜のみ</p> <p>⑨受験承諾書【様式3】</p> | <p>本研究科所定の用紙により、勤務先の所属長等が作成したものを提出してください。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>※社会人特別選抜(人文学専攻、経済学専攻、地域創造学専攻)及び短期(1年)在学型選抜(地域創造学専攻)のみ</p> <p>⑩研究経過・実績報告書</p> | <p>4,000字程度、A4サイズ、様式随意</p> <p>研究しようとする分野・テーマについてこれまでどんなことを学習してきたのか、また入学後どのような研究を計画しており、それに関連する先行研究等どの程度アプローチしてきたのかを日本語で明確に記入してください。</p> <p>この他に、参考資料として、これまでの研究業績等(公表、未公表を問わない。)の提出を認めます。</p> | | | | | | | | | | |

| | |
|--------------------------------------|---|
| ※学内推薦特別選抜のみ ⑪推薦書【様式4】 | 本研究科所定の用紙に、指導教員又は本専攻における指導予定教員が作成・厳封したものを提出してください（パソコン等で作成したものでも構いません。）。 |
| ※外国人留学生のみ ⑫在留カードの写し 及びパスポートの写し | 出願書類には、この証明書等に記載の氏名を使用してください。 日本に在留している外国人は、在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（国籍、氏名、性別、生年月日が記載されたページ）の写しを提出してください。 日本に在留していない外国人は、パスポートの写しのみを提出してください。 |
| ※該当者のみ ⑬戸籍抄本 | 改姓等の理由で成績証明書等の記載事項が出願時と異なっている場合は、戸籍抄本を1部提出してください。 |

(4) 入学検定料の支払

① 入学検定料 30,000円 ※入学検定料のほかに、サービス利用料として別途990円が必要です。

<注意> 国費外国人留学生は、入学検定料の支払は不要です。出願前に、16に記載の問合せ先まで連絡してください。

① 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払）、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club）及びネットバンキング（PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

<注意>

- 1 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報（特にメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。
- 2 銀行窓口での支払はできません。
- 3 コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
- 4 クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
- 5 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、手続方法を以下のWebサイトで確認してください。

本学（入試情報）Webサイト（本学トップページ>教育>入試情報>検定料免除・返還）

https://examination.w3.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryu_henkan/



<提出が必要な書類一覧>

●は提出が必要な書類, ◎は場合により提出が必要な書類もしくは当日持参する書類を示します。
 詳細は, 7 出願手続の(2)を参照してください。

| 専攻 | 選抜区分 | 提出書類 (Web出願システム から印刷) | 提出書類(その他) | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|-----------------------------|---|-------------|-----------|----------------|-------------|-------------|-------------|-----------|---------------------|----------|--------|
| | | ・出願確認票(提出用) ・宛名ラベル | ①入学志願票 ②卒業(見込)証明書 ③成績証明書 ④研究計画書【様式1】 | ⑤英語外部試験の証明書 | ⑥卒業論文(4部) | ⑦リサーチ・ペーパー(4部) | ⑧在職証明書【様式2】 | ⑨受験承諾書【様式3】 | ⑩研究経過・実績報告書 | ⑪推薦書【様式4】 | ⑫在留カードの写し及びパスポートの写し | ⑬戸籍抄本 | |
| 人文学専攻 | 一般選抜 | ● | ● | - | ◎ | - | - | - | - | - | - | ◎外国人の志願者 | ◎該当者のみ |
| | 社会人特別選抜 | ● | ● | - | - | - | ◎ | - | ● | - | - | ◎外国人の志願者 | |
| | 外国人留学生特別選抜 | ● | ● | - | ◎ | - | - | - | - | - | - | ● | |
| 経済学専攻 | 一般選抜 | ● | ● | ● | - | - | - | - | - | - | - | ◎外国人の志願者 | |
| | 社会人特別選抜 | ● | ● | - | - | - | ◎ | - | ● | - | - | ◎外国人の志願者 | |
| | 外国人留学生特別選抜 | ● | ● | ● | - | - | - | - | - | - | - | ● | |
| | 短期(1年)在学型選抜 | ● | ● | - | - | - | - | - | ● | - | - | ◎外国人の志願者 | |
| | 学内推薦特別選抜 | ● | ● | - | - | - | - | - | - | - | ● | - | |
| 地域創造学専攻 | 一般選抜 | ● | ● | - | - | - | - | - | - | - | - | ◎外国人の志願者 | |
| | 社会人特別選抜 | ● | ● | - | - | - | ◎ | - | ● | - | - | ◎外国人の志願者 | |
| | 外国人留学生特別選抜 | ● | ● | - | - | - | - | - | - | - | - | ● | |
| | 短期(1年)在学型選抜 | ● | ● | - | - | - | - | - | ● | ● | - | ◎外国人の志願者 | |
| 国際学専攻 | 一般選抜 | ● | ● | ◎ | ◎ | ◎ | - | - | - | - | - | ◎外国人の志願者 | |
| | 社会人特別選抜 | ● | ● | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | - | - | - | - | ◎外国人の志願者 | |
| | 外国人留学生特別選抜 | ● | ● | ◎ | ◎ | ◎ | - | - | - | - | - | ● | |

8 受験票の印刷

第1期募集は令和5（2023）年6月14日（水）頃から、第2期募集は令和6（2024）年1月5日（金）頃から、Web出願システムより受験票の印刷が可能です。「申込確認画面」からログインし、A4サイズで印刷してください。

- (1) 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元バーコードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、16に記載の問合せ先まで連絡してください。
- (3) 試験当日は、印刷した「受験票」を必ず持参してください。
- (4) 受験番号は、入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

9 選抜方法

(1) 一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、研究計画書及び出身大学の成績等を総合して行います。専攻ごとの選抜方法は以下のとおりです。

人文学専攻

◆学際総合型プログラム

i) 《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| プログラム名 | 筆記試験 | 口述試験 |
|---|--------------------------|------------------------------|
| | 専門科目 | |
| 認知科学 ヨーロッパ・東アジア 文化圏史 比較文学 ジェンダー学 文化資源学 | 別表1-①から入学後専攻しようとする1科目を選択 | 提出した研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。 |

別表1-①

| 専門科目 | 備考 |
|----------------|---|
| 認知科学 | 英語の文献読解能力に関する問題を含むことがあります。 |
| ヨーロッパ・東アジア文化圏史 | 選択問題によって構成されます。「日本史学」「東洋史学」「西洋史学」の各分野のうち、2分野の問題（史料や外国語文献の読解を含むことがあります。）から2題を選択します。 |
| 比較文学 | 共通問題と選択問題によって構成されます。共通問題は比較文学に関する概説的な小論文問題で、全受験者必須です。選択問題は、「日本文学」、「中国文学」、「英米文学」、「ドイツ文学」、「フランス文学」の分野から問題を出題します（2分野を選択）。* |

| | |
|--------|--|
| ジェンダー学 | 共通問題と選択問題によって構成されます。共通問題はジェンダー学に関する概説的な問題で英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。全受験者必須です。 選択問題は「文学・文化学的アプローチ」と「社会科学的アプローチ」から各1題、計2題の中から1題を選択します。 |
| 文化資源学 | 「考古学」「文化遺産学」「比較文化学」の各分野から1題、計3題を解答します。 |

*の分野については、事前に入学志願票にて選択します。

◆専門深化型プログラム

i) 《一般選抜》【第1期募集】

| プログラム名 | 筆記試験 | 口述試験 |
|---------------------|--------------------------|-------------------------------|
| | 専門科目 | |
| 哲 学 | 別表1-②から入学後専攻しようとする1科目を選択 | 提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。 |
| 心 理 学 | | |
| 社 会 学 | | |
| 地 理 学 | | |
| 日 本 史 学 | | |
| 東 洋 史 学 | | |
| 西 洋 史 学 | | |
| 考 古 学 | | |
| 日 本 語 学 日 本 文 学 | | |
| 中 国 語 学 中 国 文 学 | | |
| 英 語 学 英 米 文 学 | | |
| ド イ ツ 語 学 ド イ ツ 文 学 | | |
| 言 語 学 | | |
| 文 化 遺 産 学 | | |
| 比 較 文 化 学 | | |

別表1-②

| 専門科目 | 備 考 |
|------|--|
| 哲学 | 英語文献及び外国語文献（英語、ドイツ語、フランス語から1か国語を選択）の読解問題を含みます。辞書類を貸与する場合があります。 |
| 心理学 | 英語文献読解問題を含みます。 |
| 社会学 | 英語文献読解問題を含みます。 |
| 地理学 | 英語文献読解問題を含みます。 |
| 日本史学 | 英語文献読解問題を出題することがあります。 関係史料の読解問題を含みます。 |
| 東洋史学 | 研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解問題を含みます。 |
| 西洋史学 | |
| 考古学 | 英語文献読解問題を含みます。 |

| | |
|------------|---|
| 日本語学日本文学 | 外国語問題と専門問題から構成されます。外国語問題は、一般的な読解力と表現力を問う問題です。英語、中国語、ドイツ語、フランス語から1つ選択*してください。専門問題については、「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野のうち研究計画書の希望研究テーマに応じた1分野を選択してください。 |
| 中国語学中国文学 | 外国語問題と専門問題から構成されます。外国語問題は、一般的な読解力と表現力を問う問題です。英語、ドイツ語、フランス語から1つ選択*してください。専門問題は、「中国語読解力」、「中国語学」、「中国文学」の3分野から出題します。 |
| 英語学英米文学 | 外国語問題と専門問題から構成されます。外国語問題は、一般的な読解力と表現力を問う問題です。中国語、ドイツ語、フランス語から1つ選択*してください。専門問題は、「英語読解力」、「英語表現力」、「英語学」/「英米文学」(研究計画書の希望研究テーマに応じて選択)の3分野から出題します。 |
| ドイツ語学ドイツ文学 | 外国語問題と専門問題から構成されます。外国語問題は、一般的な読解力と表現力を問う問題です。英語、中国語、フランス語から1つ選択*してください。専門問題は、「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」/「ドイツ文学」(研究計画書の希望研究テーマに応じて選択)の3分野から出題します。 |
| 言語学 | 外国語問題と専門問題から構成されます。外国語問題は、一般的な読解力と表現力を問う問題です。英語、中国語、ドイツ語、フランス語から1つ選択*してください。専門問題については、英語文献読解問題を含みます。 |
| 文化遺産学 | 英語文献読解問題を含みます。 |
| 比較文化学 | 英語文献読解問題を含みます。 |

*の言語については母語にあたる言語は選択できません。出願時に入学志願票にて選択する外国語を申請してください。

ii) 《一般選抜》【第2期募集】

| プログラム名 | 筆記試験 | 口述試験 |
|------------|--------------------------|---|
| | 専門科目 | |
| 哲学 | 別表1-③から入学後専攻しようとする1科目を選択 | ①提出された卒業論文又はそれに代わる研究論文若しくはレポート ②提出された研究計画書 ③受験した専門科目 以上を中心に行います。 |
| 心理学 | | |
| 社会学 | | |
| 地理学 | | |
| 日本史学 | | |
| 東洋史学 | | |
| 西洋史学 | | |
| 考古学 | | |
| 日本語学日本文学 | | |
| 中国語学中国文学 | | |
| 英語学英米文学 | | |
| ドイツ語学ドイツ文学 | | |
| 言語学 | | |
| 文化遺産学 | | |
| 比較文化学 | | |

別表1-③

| 専門科目 | 備 考 |
|------------|--|
| 哲学 | 英語文献及び外国語文献（英語、ドイツ語、フランス語から1か国語を選択）の読解問題を含みます。辞書類を貸与する場合があります。 |
| 心理学 | 英語の文献読解力に関する問題を含みます。 |
| 社会学 | 英語の文献読解力に関する問題を含みます。 |
| 地理学 | 英語の文献読解力に関する問題を含みます。 |
| 日本史学 | 関係史料の読解問題を含みます。 |
| 東洋史学 | 研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解問題を含みます。 |
| 西洋史学 | |
| 考古学 | 英語の文献読解力に関する問題を含みます。 |
| 日本語学日本文学 | 「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野のうち研究計画書の希望研究テーマに応じた1分野を選択してください。 |
| 中国語学中国文学 | 「中国語読解力」、「中国語学」、「中国文学」の3分野から出題します。 |
| 英語学英米文学 | 「英語読解力」、「英語表現力」、「英語学」/「英米文学」（研究計画書の希望研究テーマに応じて選択）の3分野から出題します。 |
| ドイツ語学ドイツ文学 | 「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」/「ドイツ文学」（研究計画書の希望研究テーマに応じて選択）の3分野から出題します。 |
| 言語学 | 英語文献読解問題を含みます。 |
| 文化遺産学 | 英語文献読解問題を含みます。 |
| 比較文化学 | 英語文献読解問題を含みます。 |

iii) 《社会人特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| プログラム名 | 筆記試験 | 口述試験 |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| | 専門科目 | |
| 哲学 | 別表1-④から入学後専攻しようとする1科目を選択 | 提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。 |
| 心理学 | | |
| 社会学 | | |
| 地理学 | | |
| 日本史学 | | |
| 東洋史学 | | |
| 西洋史学 | | |
| 考古学 | | |
| 日本語学日本文学 | | |
| 中国語学中国文学 | | |
| 英語学英米文学 | | |
| ドイツ語学ドイツ文学 | | |
| 言語学 | | |
| 文化遺産学 | | |
| 比較文化学 | | |

別表1-④

| 専門科目 | 備 考 |
|------------|--|
| 哲学 | 外国語の文献読解力に関する問題を含むことがあります(英語、ドイツ語、フランス語から1か国語を選択)。辞書類を貸与する場合があります。 |
| 心理学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 社会学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 地理学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 日本史学 | 関係史料の読解問題を含みます。 |
| 東洋史学 | 研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解力を問うことがあります。 |
| 西洋史学 | |
| 考古学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 日本語学日本文学 | 「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野のうち研究計画書の希望研究テーマに応じた1分野を選択してください。 |
| 中国語学中国文学 | 「中国語読解力」、「中国語学」、「中国文学」の3分野から出題します。 |
| 英語学英米文学 | 「英語読解力」、「英語表現力」、「英語学」/「英米文学」(研究計画書の希望研究テーマに応じて選択)の3分野から出題します。 |
| ドイツ語学ドイツ文学 | 「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」/「ドイツ文学」(研究計画書の希望研究テーマに応じて選択)の3分野から出題します。 |
| 言語学 | 英語の文献読解問題を含みます。 |
| 文化遺産学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 比較文化学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |

iv) 《外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| プログラム名 | 筆記試験 | | 口述試験 |
|------------|--------------------------|--|-------------------------------|
| | 専門科目 | | |
| 哲学 | 別表1-⑤から入学後専攻しようとする1科目を選択 | | 提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。 |
| 心理学 | | | |
| 社会学 | | | |
| 地理学 | | | |
| 日本史学 | | | |
| 東洋史学 | | | |
| 西洋史学 | | | |
| 考古学 | | | |
| 日本語学日本文学 | | | |
| 中国語学中国文学 | | | |
| 英語学英米文学 | | | |
| ドイツ語学ドイツ文学 | | | |
| 言語学 | | | |
| 文化遺産学 | | | |
| 比較文化学 | | | |

別表1-⑤

| 専門科目 | 備 考 |
|------------|--|
| 哲学 | 外国語の文献読解力に関する問題を含むことがあります(英語、ドイツ語、フランス語から1か国語を選択)。辞書類を貸与する場合があります。 |
| 心理学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 社会学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 地理学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 日本史学 | 関係史料の読解問題を含みます。 |
| 東洋史学 | 研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解力を問うことがあります。 |
| 西洋史学 | |
| 考古学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 日本語学日本文学 | 「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野のうち研究計画書の希望研究テーマに応じた1分野を選択してください。 |
| 中国語学中国文学 | 「中国語読解力」、「中国語学」、「中国文学」の3分野から出題します。 |
| 英語学英米文学 | 「英語読解力」、「英語表現力」、「英語学」/「英米文学」(研究計画書の希望研究テーマに応じて選択)の3分野から出題します。 |
| ドイツ語学ドイツ文学 | 「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」/「ドイツ文学」(研究計画書の希望研究テーマに応じて選択)の3分野から出題します。 |
| 言語学 | 英語の文献読解問題を含みます。 |
| 文化遺産学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |
| 比較文化学 | 英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 |

◆公認心理師養成プログラム

i) 《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| プログラム名 | 筆記試験 | 口述試験 |
|---------|--|---|
| | 専門科目 | |
| 公認心理師養成 | 事例問題と臨床心理学を中心とした心理学について出題します。また、英語文献読解問題を含みます。 | 提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。また、臨床実践に対する考えや理解を問います。 |

経済学専攻

いずれの選抜においても、出願前に第1希望の指導教員に事前相談することを推奨します。

i) 《一般選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| コース名 | 外国語 | 筆記試験 | 口述試験 |
|-------------------------------------|--------------------|---------------------------------------|--|
| | | 専門科目 | |
| 経済理論・政策コース 国際社会・経済コース 経営情報コース | 提出されたスコアをもとに評価します。 | 別表2-①から1科目選択。入学後の研究計画に則した科目を選択してください。 | 提出された出願書類にもとづき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画について行います。 |

別表2-①

| 専門科目 | 備考 |
|---------------------|--|
| 経済理論 | 次の課題テキストの内容に関連した出題となります。ミクロ経済学に関する設問とマクロ経済学に関する設問を1問ずつ出題する形式で、両問に解答します。 ミクロ経済学：井堀利宏『入門ミクロ経済学（第3版）』（新世社、2019年） マクロ経済学：井堀利宏『入門マクロ経済学（第4版）』（新世社、2020年） |
| 経済史 | 次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 金井雄一・中西聡・福澤直樹編著『世界経済の歴史』（名古屋大学出版会、2010年） 武田晴人『日本経済史』（有斐閣、2019年） 久保亨編『中国経済史入門』（東京大学出版会、2012年） |
| 国際経済 | 次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 上川孝夫・藤田誠一編『現代国際金融論（第4版）』（有斐閣、2012年） クルーグマン、P.R.・オブストフェルド、M.・メリッツ、M. J.（山形浩生・守岡桜訳）『クルーグマン国際経済学：理論と政策（原書第10版）上：貿易編』（丸善出版、2017年） |
| 経済政策論 （社会政策論を含む） | 次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 柳川隆・永合位行・藤岡秀英編『セオリー&プラクティス 経済政策』（有斐閣、2017年） 神野真敏・安岡匡也編『歴史と理論で考える日本の経済政策』（中央経済社、2020年） |

| | |
|-----|--|
| 経営学 | 次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 井原久光『テキスト経営学 [第3版]：基礎から最新の理論まで』（ミネルヴァ書房、2008年） |
| 会計学 | 次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 桜井久勝『財務諸表分析（第8版）』（中央経済社、2020年） 伊藤邦雄『新・現代会計入門 第5版』（日本経済新聞社、2022） |

ii) 《社会人特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| コース名 | 筆記試験 | 口述試験 |
|------------|------|----------------|
| | 専門科目 | |
| 経済理論・政策コース | / | 別表2-②により実施します。 |
| 国際社会・経済コース | | |
| 経営情報コース | | |

別表2-②

| 口述試験等 | 備考 |
|-------|--|
| 書類審査 | 提出された研究経過・実績報告書を審査します。 |
| 口述試験 | 提出された出願書類にもとづき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画について行います。 |

iii) 《外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| コース名 | 外国語 | 筆記試験 | 口述試験 |
|------------|--------------------|---------------------------------------|--|
| | | 専門科目 | |
| 経済理論・政策コース | 提出されたスコアをもとに評価します。 | 別表2-①から1科目選択。入学後の研究計画に則した科目を選択してください。 | 提出された出願書類にもとづき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画について行います。 |
| 国際社会・経済コース | | | |
| 経営情報コース | | | |

注：筆記試験及び口述試験は日本語で行われます。

地域創造学専攻

i) 《一般選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| コース名 | 筆記試験 | 口述試験 |
|------------|--|-------------------------------|
| | 専門科目 | |
| 地域創造学コース | 別表3-①から入学後専攻しようとする科目1科目（第1希望の指導教員の科目）を選択 | 提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。 |
| 教育支援開発学コース | | |

別表3-①（地域創造学コース）

| 専門科目 | 備 考 |
|----------------|--|
| 地域社会学 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 森岡清志・北川由紀彦（編）『都市と地域の社会学』（放送大学教育振興会、2018年）、山本努（編）『よくわかる地域社会学』（ミネルヴァ書房、2022年） |
| 公共社会学 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 Anthony Giddens and Philip W. Sutton、2021、Sociology 9th ed.、Polity Press. |
| 福祉・医療社会学 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 武川正吾著『福祉社会一包撰の社会政策 新版』（有斐閣、2011年）、中川輝彦・黒田浩一郎（編著）『よくわかる医療社会学』（ミネルヴァ書房、2010年） |
| 国際社会学 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 梶田孝道（編）『新・国際社会学』（名古屋大学出版会、2005年） 宮島喬ほか（編）『国際社会学』（有斐閣、2015年） |
| 社会保障論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 社会政策論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 社会福祉学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 高齢者福祉論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 国際障害学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域法学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域政策論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 文化動態論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| コミュニティ・デザイン論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域経営論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 環境政策論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域居住論 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 脇田祥尚著『みんなの都市計画』（理工図書、2009年） |
| 科学技術社会論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 環境社会学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 人文地理学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 自然地理学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 農村計画論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 資源保全・コミュニケーション | 基礎問題と専門問題から出題します。 |

| | |
|-----------|---|
| スポーツ社会学 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 森川貞夫・佐伯聡夫編著『スポーツ社会学講義』（大修館書店、1988年） 寒川恒夫編著『スポーツ文化論』（杏林書院、1994） 井上俊・菊幸一編著『よくわかるスポーツ文化論』（ミネルヴァ書房、2012） |
| スポーツ経営学 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 八代勉・中村平編『体育・スポーツ経営学講義』（大修館書店、2002年） 山下秋二・中西純司・松岡安高編『図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント』（大修館書店、2016年） |
| 健康増進科学 | 健康科学（運動生理学・生化学、応用生命科学を含む）に関する基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 食環境学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 健康教育学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| スポーツ・健康科学 | 運動生理学・生化学（特に運動器）、運動処方に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 |

別表3-①（教育支援開発学コース）

| 専門科目 | 備 考 |
|-----------|---|
| スポーツ栄養学 | スポーツ栄養学に関する基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 幼児発達臨床論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 学校保健論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 生活指導論 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 湯浅恭正・福田敦志編『子どもとつくる教育方法の展開』（ミネルヴァ書房、2021年）、 山本敏郎他著『新しい時代の生活指導』（有斐閣アルマ、2014年） |
| 環境教育論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 教育行政学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 教育史 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 近現代教育思想 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 国語科教育 | 小中学校における国語科教育に関する基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 数学科教育 | 算数・数学科教育に関する基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 言語障害支援論 | 言語・コミュニケーション障害のアセスメント及び支援に関する基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 発達障害論 | 発達障害に関わる基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 生活文化論 | 生活文化に関する基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 消費生活論 | 消費生活、消費者教育に関する基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 生活と地域 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 『家政学のじかん』編集委員会編『楽しもう家政学』（開隆堂出版、2017年） |
| 保育学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 衣生活学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域工芸建築論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域芸術絵画論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域芸術彫刻論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域芸術デザイン論 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域芸術声楽論 | 声楽を含む、あらゆる歌唱活動について基礎問題と専門問題から出題します。 |

| | |
|----------|---|
| 地域芸術作編曲論 | 編曲を含む作曲活動について基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 地域芸術教育論 | 次の課題テキストに関連した基礎問題と専門問題から出題します。 『ミュージッキングー音楽は〈行為〉である』C. スモール（水声社、2011年） |
| 身体運動心理学 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 杉原隆著『運動指導の心理学』（大修館書店、2003年） |
| バイオメカニクス | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| スポーツ教育学 | 基礎問題と専門問題から出題します。 |
| 運動神経科学 | 次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 宮下保司監修『カンデル神経科学』第2版（メディカルサイエンスインターナショナル、2022年） |

ii) 《社会人特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| コース名 | 筆記試験 | 口述試験 |
|------------|----------------|------|
| | 専門科目 | |
| 地域創造学コース | 別表3-②により実施します。 | |
| 教育支援開発学コース | | |

別表3-②

| 口述試験等 | 備考 |
|-------|--|
| 書類審査 | 提出された研究経過・実績報告書を審査します。 |
| 口述試験 | 提出された出願書類にもとづき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画について行います。 |

国際学専攻

《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

| コース名 | 分野又は区分 | 筆記試験 | 口述試験 |
|-----------------|--------------------------------|--|------|
| | | 専門科目 | |
| 国際関係・地域研究コース | 国際関係学／アジア地域研究／米英地域研究／ヨーロッパ地域研究 | 「7 出願手続(2)⑦リサーチ・ペーパー」(12ページ)を事前に提出することで、筆記試験に充てます。 | |
| 日本語教育・日本文化研究コース | 日本語教育学・日本語学・日本文化学 | | |

(2) 短期（1年）在学型選抜（経済学専攻、地域創造学専攻共通）

入学者の選抜は、口述試験、成績証明書、研究計画書等を総合して判定します。

地域創造学専攻は、提出された研究経過・実績報告書も加味して判定します。

口述試験は、提出された研究計画書を中心に行います。

事前相談について

本選抜方法での入学を希望する者については、出願書類提出時までに指導希望教員と履修計画等について事前に相談することを推奨します。

(3) 学内推薦特別選抜（経済学専攻）

入学者の選抜は、書類選考及び口述試験を総合して行います。

先に出願資格審査を行い、審査結果を第1期募集は令和5（2023）年6月15日（木）に、第2期募集は令和6（2024）年1月18日（木）に志願者あてにアカンサスポータルで通知します。口述試験受験資格を有する者に対し、試験日に口述試験を実施します。

- ・書類選考 成績証明書、研究計画書及び推薦書等を総合的に判断して行います。
- ・口述試験 提出された研究計画書を中心に行います。

10 試験日時

(1) 試験日

| 区 分 | 試 験 日 |
|-------|-------------------|
| 第1期募集 | 令和5（2023）年7月1日（土） |
| 第2期募集 | 令和6（2024）年2月3日（土） |

(2) 試験科目、試験時間、試験会場

【一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜】

| 専 攻 名 | 試 験 科 目 | | 試 験 時 間 | 試 験 場 |
|----------------------|---------|------|-------------|---|
| 人文学専攻 （第1・2期募集） | 筆記試験 | 専門科目 | 9：30～12：30 | 金沢大学 人間社会第1講義棟 又は第2講義棟 （詳細は受験票印刷時に確認してください。） |
| | 口 述 試 験 | | 14：00～ | |
| 経済学専攻 （第1・2期募集） | 筆記試験 | 専門科目 | 10：30～12：30 | |
| | 口 述 試 験 | | 14：00～ | |
| 地域創造学専攻 （第1・2期募集） | 筆記試験 | 専門科目 | 10：30～12：30 | |
| | 口 述 試 験 | | 14：00～ | |
| 国際学専攻 （第1・2期募集） | 口 述 試 験 | | 9：30～ | |

【短期（1年）在学型選抜】

| 専攻名 | 試験科目 | 試験時間 | 試験場 |
|--------------------|------|--------|---|
| 経済学専攻 (第1・2期募集) | 口述試験 | 14:00～ | 金沢大学 人間社会第1講義棟又は第2講義棟 (詳細は受験票印刷時に確認してください。) |
| 地域創造学専攻 (第1期募集) | 口述試験 | 14:00～ | |

【学内推薦特別選抜】

| 専攻名 | 試験科目 | 試験時間 | 試験場 |
|--------------------|------|--------|---|
| 経済学専攻 (第1・2期募集) | 口述試験 | 14:00～ | 金沢大学 人間社会第1講義棟又は第2講義棟 (詳細は受験票印刷時に確認してください。) |

11 合格者発表

| 区分 | 日 時 |
|-------|--------------------------|
| 第1期募集 | 令和5(2023)年7月31日(月) 16:00 |
| 第2期募集 | 令和6(2024)年2月22日(木) 16:00 |

【注】合格者の受験番号を本学所定の掲示板（人間社会第2講義棟1階学生課前）及び研究科Webサイトにおいて発表するとともに、合格者にのみ合格通知書を送付します。また、金沢大学（入試情報）Webサイトの「オンライン合否照会システム」から合否の確認をすることができます。なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト

<http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

オンライン合否照会システム

<https://examination.w3.kanazawa-u.ac.jp/admission/goukakusyahappyou/>



12 入学手続

入学手続期間及び手続方法については、第1期募集合格者には2月下旬、第2期募集合格者には合格通知時に「大学院入学手続要項」によりお知らせします。

なお、海外在住の外国人留学生は、合格後に銀行口座残高証明書（残高100万円以上）の提出が求められます（在留資格認定証明書（COE）交付申請のため）。

13 授業料等納付金

- (1) 入学料 282,000円（予定）
- (2) 授業料 前期分 267,900円 [授業料年額 535,800円]

(3) その他必要な経費

学生教育研究災害傷害保険料（付帯賠償を含む・2年分） 2、430円

（短期（1年）在学型は、（付帯賠償を含む・1年分） 1、340円）

なお、外国人留学生は外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）への加入を強く推奨します。

14 その他

(1) 英語外部検定試験の受験について

※本研究科では英語能力強化の一環として、原則、入学後に一定の基準（TOEIC(L&R)600点相当）を満たす英語の外部検定試験のスコアを取得することを修了要件の一つとしています。

※ただし、以下のいずれかに該当する者は、英語検定試験の受験が免除されます。免除されるためには、「英語検定試験受験免除申請書」を提出し、審査を受ける必要があります。

①TOEIC(L&R) 760点、TOEFL-iBT 80点、TOEFL-ITP 550点又はIELTS 6.0以上のスコアを持つ者

②社会人特別選抜又は短期（1年）在学型選抜により入学した者

③英語による選抜試験（経済学専攻 数量経済学プログラム選抜試験及び国際学専攻 国際関係・地域研究コース 英語プログラム選抜試験）により入学した者

④英語母語話者（一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者）

⑤その他研究科長が特に認めた者

※受験料は学生の自己負担となります。ただし、学内の各種助成制度により、受験料の一部又は全部の補助を受けられる可能性があります。

(2) 標準修業年限

本研究科（博士前期課程）の標準修業年限は2年（短期（1年）在学型は1年）です。ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年で修了することが認められる場合があります。

(3) 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度

本研究科では、在職者等必要がある者に対して、大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。この制度を利用することで、人間社会環境研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用を希望する場合は、入学志願票の14条特例希望欄に☑を入れてください。また、在職証明書【様式2】を提出してください。なお、同第2条の2（専ら夜間において教育を行う大学院の課程）には該当しません。

参考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）「抄」

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(4) 長期履修制度

本研究科では、短期在学型（1年）を除いて、仕事あるいは家事、育児、介護等に就いている人たちのために、標準修業年限を超えて履修を認める特別な制度（長期履修制度）を設けています。この制度を利用すれば、学則に規定される在学年限（原則として、博士前期課程は4年）の範囲内で、長

期履修期間を設定することができます。授業料は、標準修業年限（2年）の授業料総額を長期履修として認められた期間に学期ごとに均分して支払うことになります。

対象となる学生は次のいずれかに該当する者で、標準就業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

ア 有職者（臨時雇用を含む）

イ 家事、育児、介護等に従事している者

ウ 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能に障がいがある者

長期履修を希望する場合は、入学志願票の長期履修制度希望欄に☑を入れてください。（在留資格が「留学」の外国人留学生は適用できません。）申請しても許可されないこともありますので、ご了承ください。

（5）障がいのある者等の事前相談

心身に障がいがあるため、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願資格事前審査の書類提出期限までに次の書類を16に記載の問合せ先まで提出し、相談してください。

ア 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は自由）

- ① 氏名、住所、連絡先、志望コース名
- ② 障がいの種類・程度
- ③ 受験及び修学に配慮を希望する事項
- ④ 大学等で配慮されていた事項
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ その他参考となる事項

イ 医師の診断書（写しも可）

ウ その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

（6）金沢大学独自の奨学金制度

金沢大学は外国人留学生を対象として、奨学金制度を設けています。

詳しくは以下の Web サイトを確認してください。

<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/j/abroad/scholarship.html>



（7）外国人留学生日本就職促進プログラム 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」

日本での就職・キャリアを考えてみませんか。

プログラム履修者のうち、日本企業就職希望者は100%日本企業から内定を獲得しています。

本学では、日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸とした付加プログラムを展開しています。これにより、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成し、日本就職を支援します。

プログラム説明会は入学時期に応じて4月・10月の年2回行います。日程は入学後に通知しますので、是非出席してください。

なお、外国人留学生日本就職促進プログラムに係る問合せ先は以下のとおりです。

担当 学務部学生支援課キャリア支援室

E-mail kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp

（8）注意事項

- ① 一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、学内推薦特別選抜、短期（1年）在学型選抜は、各募集期での併願はできませんので、いずれか一つを選択し、出願してください。
- ② 出願書類受理後は、書類の返却及び記載事項の変更には応じられません。

- ③ 選抜試験において筆記試験が課せられている場合には、筆記試験を受験しなければ、口述試験は受験できません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載、不正申告をした者及び入学試験において不正な行為を行った事実が判明した者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。その場合、振り込まれた入学金は返還しません。

(9) 過去の試験問題の公表

過去の筆記試験問題については、下記Webサイトを確認してください。

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト>入試情報>博士前期課程

https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/



15 個人情報の保護

金沢大学では、個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出する書類に記載されている全ての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務で利用します。

- (1) 入学選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

16 問合せ先

金沢大学人間社会系事務部学生課入試・学生募集係

〒920-1192 石川県金沢市角間町

電話 076-264-5600～5602

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

17 参考資料

| 入学 年度 | 人文学専攻 | | | 経済学専攻 | | | 地域創造学専攻 | | | 国際学専攻 | | |
|--------------------|----------------|----------|----------|----------------|----------|----------|----------------|----------|----------|----------------|----------|----------|
| | 入学 志願 者数 | 合格 者数 | 入学 者数 | 入学 志願 者数 | 合格 者数 | 入学 者数 | 入学 志願 者数 | 合格 者数 | 入学 者数 | 入学 志願 者数 | 合格 者数 | 入学 者数 |
| 26年度 (第1期) | 13 | 10 | 9 | 5 | 2 | 1 | 4 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3 |
| 26年度 (第2期) | 20 | 15 | 12 | 7 | 2 | 2 | 12 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 |
| 27年度 (第1期) | 13 | 11 | 9 | 5 | 2 | 2 | 6 | 4 | 3 | 6 | 6 | 5 |
| 27年度 (第2期) | 11 | 8 | 6 | 7 | 2 | 2 | 6 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 |
| 28年度 (第1期) | 7 | 7 | 6 | 8 | 6 | 6 | 2 | 0 | 0 | 4 | 4 | 3 |
| 28年度 (第2期) | 12 | 8 | 7 | 8 | 4 | 4 | 5 | 2 | 2 | 4 | 3 | 3 |
| 29年度 (第1期) | 13 | 9 | 6 | 6 | 4 | 4 | 5 | 3 | 2 | 4 | 4 | 4 |
| 29年度 (第2期) | 12 | 7 | 7 | 11 | 3 | 3 | 12 | 6 | 5 | 7 | 5 | 5 |
| 30年度 (第1期) | 13 | 13 | 13 | 4 | 1 | 1 | 16 | 10 | 9 | 7 | 5 | 5 |
| 30年度 (第2期) | 7 | 4 | 4 | 5 | 2 | 2 | 10 | 9 | 8 | 5 | 3 | 3 |
| 31年度 (第1期) | 9 | 9 | 8 | 4 | 4 | 4 | 5 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 31年度 (第2期) | 16 | 8 | 8 | 14 | 8 | 7 | 11 | 8 | 8 | 3 | 3 | 2 |
| 令和 2年度 (第1期) | 10 | 8 | 7 | 4 | 3 | 2 | 8 | 4 | 2 | 4 | 4 | 4 |
| 2年度 (第2期) | 10 | 8 | 7 | 13 | 0 | 0 | 16 | 11 | 11 | 10 | 4 | 4 |
| 3年度 (第1期) | 12 | 8 | 6 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 2 | 1 | 1 |
| 3年度 (第2期) | 20 | 12 | 9 | 8 | 4 | 3 | 19 | 14 | 13 | 5 | 3 | 3 |
| 4年度 (第1期) | 15 | 11 | 8 | 6 | 5 | 2 | 5 | 3 | 3 | 5 | 2 | 1 |
| 4年度 (第2期) | 20 | 10 | 8 | 22 | 8 | 7 | 26 | 14 | 14 | 5 | 3 | 3 |
| 5年度 (第1期) | 22 | 18 | 13 | 4 | 2 | 1 | 11 | 7 | 5 | 8 | 4 | 1 |
| 5年度 (第2期) | 15 | 9 | 8 | 8 | 7 | 7 | 20 | 9 | 9 | 5 | 3 | 3 |

18 担当教員一覧

各教員の主な授業科目や研究内容を知りたい場合は、金沢大学Web版シラバスや、金沢大学研究者情報を確認してください。

- ・Web版シラバス

<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>

- ・研究者情報

<https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/>



(1) 人文学専攻

| プログラム・コース | 担当教員 | 専門分野 |
|----------------|-------|--------------------------------------|
| A. 学際総合型プログラム | | |
| 認知科学 | 入江 浩司 | 言語学、アイスランド語学 |
| | 小島 治幸 | 認知科学、認知神経科学、脳科学 |
| | 高山 知明 | 日本語学、言語学 |
| | 谷内 通 | 学習心理学、比較心理学、動物を対象とした学習・認知に関する実験的研究一般 |
| | 堀田 優子 | 英語学、認知科学 |
| | 松井 三枝 | 臨床神経心理学、臨床心理学、認知脳科学、精神神経科学、医療心理学 |
| | 荒木友希子 | 臨床心理学、健康心理学 |
| | 菊谷まり子 | 認知心理学、比較文化心理学 |
| | 小林 大祐 | 社会学 |
| | 渋谷 良方 | 英語学、認知言語学、コーパス言語学 |
| | 安永 大地 | 言語学、心理言語学、認知科学 |
| ヨーロッパ・東アジア文化圏史 | 安部聡一郎 | 中国古代史 |
| | 田中 俊之 | 中世都市、中世農村、領域政策、史学一般 |
| | 根津由喜夫 | 史学一般 |
| | 能川 泰治 | 日本史、経済史 |
| | 古市 大輔 | 中国清代史 |
| 比較文学 | 岩津 航 | フランス文学、比較文学 |
| | 上田 望 | 中国文学 |
| | 杉山 欣也 | 日本文学 |
| | 飯島 洋 | 日本文学、文学一般 |
| | 猪瀬 千尋 | 日本文学 |
| | 佐藤 文彦 | ヨーロッパ文学、文学一般 |
| | 原 佑介 | 日本文学、文学一般 |
| | 宮澤 優樹 | 英米・英語圏文学 |
| ジェンダー学 | 岩本 健良 | ジェンダー学、社会学、教育社会学 |
| | 飯田 玲子 | 文化人類学、地域研究 |
| 文化資源学 | 足立 拓朗 | 考古学、博物館学、西アジア史 |
| | 市川 彰 | 考古学、文化財科学・博物館学、地域研究 |
| | 小高 敬寛 | 考古学、文化財科学・博物館学 |



| | | |
|---------------|-------|--------------------------------------|
| | 覺張 隆史 | 考古分子生物学、パレオゲノミクス、同位体生態学、文化財科学 |
| | 河合 望 | 考古学、アジア史・アフリカ史、文化財科学・博物館学、美術史、地域研究 |
| | 菅原 裕文 | 西洋美術史 |
| | 谷川 竜一 | 建築史・意匠、20世紀の日本・アジア関係史、地域研究 |
| | 森 雅秀 | 中国哲学・印度哲学・仏教学、美術史、宗教学 |
| B. 専門深化型プログラム | | |
| 哲学 | 佐々木 拓 | 西洋倫理学 |
| | 山本 英輔 | 哲学・倫理学 |
| 心理学 | 岡田 努 | 人格心理学、青年心理学 |
| | 小島 治幸 | 実験心理学、知覚認知心理学、生理神経心理学 |
| | 谷内 通 | 学習心理学、比較心理学、動物を対象とした学習・認知に関する実験的研究一般 |
| | 荒木友希子 | 臨床心理学、健康心理学 |
| 社会学 | 轟 亮 | 社会学 |
| | 小林 大祐 | 社会学 |
| 地理学 | 中島 弘二 | 人文地理学 |
| | 宇根 義己 | 人文地理学 |
| | 田中 健作 | 人文地理学 |
| 日本史学 | 能川 泰治 | 日本史、経済史 |
| | 上田 長生 | 近世史 |
| | 吉永 匡史 | 古代史 |
| 東洋史学 | 安部聡一郎 | 中国古代史 |
| | 古市 大輔 | 中国清代史 |
| 西洋史学 | 田中 俊之 | 中世都市、中世農村、領域政策、史学一般 |
| | 根津由喜夫 | 史学一般 |
| 考古学 | 足立 拓朗 | 考古学、博物館学、西アジア史 |
| | 市川 彰 | 考古学、文化財科学・博物館学、地域研究 |
| | 小高 敬寛 | 考古学、文化財科学・博物館学 |
| | 覺張 隆史 | 考古分子生物学、パレオゲノミクス、同位体生態学、文化財科学 |
| | 河合 望 | 考古学、アジア史・アフリカ史、文化財科学・博物館学、美術史、地域研究 |
| 日本語学日本文学 | 杉山 欣也 | 日本文学 |
| | 高山 知明 | 日本語学、言語学 |
| | 飯島 洋 | 日本文学、文学一般 |
| | 猪瀬 千尋 | 日本文学 |
| | 大野 順子 | 日本文学 |
| | 原 佑介 | 日本文学、文学一般 |
| 中国語学中国文学 | 上田 望 | 中国文学 |
| | 原田 愛 | 中国古典文学 |
| | 加納 希美 | 現代中国語文法 |

★

★

| | | |
|-----------------|-------|--------------------------------------|
| 英語学英米文学 | 堀田 優子 | 英語学、認知科学 |
| | 渋谷 良方 | 英語学、認知言語学、コーパス言語学 |
| | 宮澤 優樹 | 英米・英語圏文学 |
| ドイツ語学ドイツ文学 | 佐藤 文彦 | ヨーロッパ文学、文学一般 |
| | 西出 佳代 | 言語学 |
| 言語学 | 入江 浩司 | 言語学、アイスランド語学 |
| | 安永 大地 | 言語学、心理言語学、認知科学 |
| | 菅沼健太郎 | 言語学 |
| 文化遺産学 | 足立 拓朗 | 考古学、博物館学、西アジア史 |
| | 市川 彰 | 考古学、文化財科学・博物館学、地域研究 |
| | 小高 敬寛 | 考古学、文化財科学・博物館学 |
| | 河合 望 | 考古学、アジア史・アフリカ史、文化財科学・博物館学、美術史、地域研究 |
| | 菅原 裕文 | 西洋美術史 |
| | 谷川 竜一 | 建築史・意匠、20世紀の日本・アジア関係史、地域研究 |
| 比較文化学 | 森 雅秀 | 中国哲学・印度哲学・仏教学、美術史、宗教学 |
| C. 公認心理師養成プログラム | | |
| | 岡田 努 | 人格心理学、青年心理学 |
| | 小島 治幸 | 実験心理学、知覚認知心理学、生理神経心理学 |
| | 谷内 通 | 学習心理学、比較心理学、動物を対象とした学習・認知に関する実験的研究一般 |
| | 荒木友希子 | 臨床心理学、健康心理学 |
| | 松井 三枝 | 臨床神経心理学、臨床心理学、認知脳科学、精神神経科学、医療心理学 |
| | 原田 克巳 | 臨床心理学、スクールカウンセリング |
| | 村山 恭朗 | 臨床心理学、教育心理学 |
| | 吉村 晋平 | 臨床心理学、認知行動療法、精神病理学 |
| | 上宮 愛 | 司法・犯罪心理学、認知心理学、発達心理学 |

★

注 氏名欄右の、☆は、令和7（2025）年3月に退職予定の教員、★は、令和8（2026）年3月に退職予定の教員です。

(2) 経済学専攻

氏名欄右の◆は、経済学専攻専任教員のうち、短期（1年）在学型プログラムにもとづく院生を受入れる教員です。

| プログラム・コース | 担当教員 | 専門分野 | |
|------------|-------|--|-----|
| 経済理論・政策コース | 碓山 洋 | 財政学、公共政策論 | ◆ ★ |
| | 井出 明 | 観光学（特にダークツーリズム）、 アートマネジメント、社会情報学 | ◆ |
| | 塩谷 雅弘 | 金融、国際金融、アジア経済、特にこれらの実証研究 | |
| | 大木 一慶 | マクロ経済学 | |
| | 加藤 峰弘 | 金融論、銀行論 | |
| | 金間 大介 | イノベーション論、マーケティング論 | ◆ |
| | 小林 信介 | 経済史、日本史、地域史、社会運動史、移民史、 民衆史 | |
| | 齋藤 毅 | 国際経営、国際人的資源管理論 | ◆ |
| | 阪口 博政 | 管理会計（医療分野）、医療管理学 | ◆ |
| | 佐藤 清和 | 財務会計 | ◆ |
| | 佐藤 秀樹 | 英仏金融史、ヨーロッパ金融 | |
| | 佐無田 光 | 地域経済学 | ◆ |
| | 鈴木 智気 | 経営管理論 | ◆ |
| 国際社会・経済コース | 瀬尾 崇 | 政治経済学、経済学史、進化経済学 | |
| | 高梨 誠之 | ミクロ経済学、ゲーム理論 | |
| 経営情報コース | 竹島 貞治 | 簿記会計、会計制度、会計理論、会計史 | ◆ |
| | 武田 公子 | 地方財政論、財政分析、分権化と財政 | ◆ ★ |
| | 千葉 芳広 | 医療史、労働史、農業史、東南アジア史 | |
| | 張 婧 | マーケティング論（サービス・マーケティング、 小売マーケティング、顧客理解、価値共創） | ◆ |
| | 藤澤美恵子 | 応用ミクロ経済学（実験経済学・都市経済学等） | ◆ |
| | 星野 伸明 | 経済統計学 | |
| | 正木 響 | 経済発展論、西アフリカ経済史、貨幣・通貨、 世界経済論 | |
| | 松浦 義昭 | ビジネスファイナンス | ◆ |
| | 松島 大輔 | グローバルアントレプレナー、破壊的イノベーション、 エフェクチュエーション、リスタートアップ、 シン産業化（システム・メーカー） | ◆ |
| | 柳 在圭 | 生産システム、経営工学、 サプライチェーンマネジメント | ◆ |
| | 吉居 史子 | 国際政治学、国際関係論 | |

注1 希望する指導教員に選択すべき専門科目やコースについて確認すること等のために、事前に連絡し、相談することが望ましい。

2 氏名欄右の、☆は、令和7（2025）年3月に退職予定の教員、★は、令和8（2026）年3月に退職予定の教員です。

(3) 地域創造学専攻

氏名欄右の◆は、地域創造学専攻専任教員のうち、短期（1年）在学型プログラムにもとづく院生を受入れる教員です。

| プログラム・コース/ 専門科目 | 担当教員 | 専門分野 | |
|--------------------|-------|---|---|
| 地域創造学コース | | | |
| 地域社会学 | 眞鍋 知子 | 社会学、地域社会学 | ◆ |
| 公共社会学 | 田邊 浩 | 社会学、社会理論、現代社会論、福祉国家論、文化社会学 | ◆ |
| 福祉・医療社会学 | 高橋 涼子 | 社会学、福祉・医療社会学、障害学、ジェンダー学 | |
| 国際社会学 | 眞住 優助 | 社会学 | |
| 社会保障論 | 村上 慎司 | 社会保障論、経済哲学 | |
| 社会政策論 | 小澤 裕香 | 社会政策、貧困対策、社会的排除 | |
| 社会福祉学 | 森山 治 | 社会福祉学、医療福祉論、ケア論 | |
| 高齢者福祉論 | 尹 一喜 | 社会福祉学、介護者支援 | |
| 国際障害学 | 堤 敦朗 | 社会福祉学、公衆衛生学、国際精神保健学 | |
| 地域法学 | 石川多加子 | 憲法 | |
| 地域政策論 | 奥田 恒 | 地域政策論、地方自治、公共政策学、政治理論 | |
| 文化動態論 | 田村うらら | 人類学、文化変容、モノ研究 | |
| コミュニティ・デザイン論 | 丸谷 耕太 | コミュニティ・デザイン、文化的景観、伝統工芸、ランドスケープ論 | |
| 地域経営論 | 川澄 厚志 | 観光まちづくり、地域経営論、コミュニティ開発 | |
| 環境政策論 | 大野 智彦 | 環境ガバナンス、河川政策 | |
| 地域居住論 | 白石 英巨 | 都市計画・建築計画、土木計画学・交通計画、まちづくり | |
| 科学技術社会論 | 一方井祐子 | 科学技術社会論、科学コミュニケーション論 | |
| 環境社会学 | 菊地 直樹 | 地域マネジメント論、環境社会学、自然再生論 | |
| 人文地理学 | 林 紀代美 | 地理学、水産学一般、自然災害科学・防災学、食生活学 | ◆ |
| 自然地理学 | 青木 賢人 | 地理学 | ◆ |
| 農村計画論 | 林 直樹 | 農村計画学、生態系サービス、撤退の農村計画 | |
| 資源保全・コミュニケーション | 山田菜緒子 | インタープリテーション、遺産資源保全、持続的な観光、来訪者研究 | |
| スポーツ社会学 | 佐川 哲也 | スポーツ科学、子ども学（子ども環境学） | ◆ |
| スポーツ経営学 | 藤谷かおる | 体育授業、スポーツ経営学 | |
| 健康増進科学 | 増田 和実 | スポーツ科学、運動生理学・生化学、環境生理学（含体力医学・栄養生理学）、生体医工学 | ◆ |
| 食環境学 | 寺沢なお子 | 食生活学、栄養学、健康科学 | |
| 健康教育学 | 岩田 英樹 | 応用健康科学、健康教育学、教科教育学（保健） | |
| スポーツ・健康科学 | 芝口 翼 | スポーツ科学、環境生理学（含体力医学・栄養生理学）、筋生理・生化学 | |
| 教育支援開発学コース | | | |
| スポーツ栄養学 | 野中 雄大 | 糖尿病、運動、減量、膵臓、筋萎縮 | |
| 幼児発達臨床論 | 池田慎之介 | 発達心理学、感情心理学 | |
| 学校保健論 | 森 慶恵 | 保健教育、養護実践、健康情報リテラシー | |

| | | |
|-----------|-------|-----------------------------|
| 生活指導論 | 上森さくら | 教育方法学 |
| 環境教育論 | 土井 妙子 | カリキュラム論 |
| 教育行政学 | 土屋 明広 | 教育法学、教育行政学、基礎法学 |
| 教育史 | 鳥居 和代 | 教育史 |
| 近現代教育思想 | 平石 晃樹 | 教育学 |
| 国語科教育 | 折川 司 | 教科教育学 |
| 数学科教育 | 伊藤 伸也 | 教育学、教科教育学、科学教育 |
| 言語障害支援論 | 小林 宏明 | 特別支援教育 |
| 発達障害論 | 吉村 優子 | 発達障害、脳科学、特別支援教育 |
| 生活文化論 | 綿引 伴子 | 教科教育学、家庭科教育、ジェンダー |
| 消費生活論 | 尾島 恭子 | 家政・生活学一般 |
| 生活と地域 | 花輪 由樹 | 郷土、地域学習、こどものまち、ミニ・ミュンヘン、住教育 |
| 保育学 | 滝口 圭子 | 発達心理学、保育学、特別支援教育 |
| 衣生活学 | 森島 美佳 | 衣・住生活学 |
| 地域工芸建築論 | 鷺山 靖 | 教科教育学、建築史・意匠、金属工芸 工芸史 |
| 地域芸術絵画論 | 大村 雅章 | 絵画論、絵画技法・材料論 |
| 地域芸術彫刻論 | 江藤 望 | 彫刻造形論、塑像制作、立体造形 |
| 地域芸術デザイン論 | 池上 貴之 | デザイン |
| 地域芸術声楽論 | 安藤 常光 | 歌、合唱、呼吸、表現、心 |
| 地域芸術作編曲論 | 浅井 暁子 | 作曲、現代音楽 |
| 地域芸術教育論 | 西島 千尋 | 音楽教育、音楽教育史、ミュージッキング |
| 身体運動心理学 | 村山 孝之 | スポーツ心理学、実験心理学、認知行動科学 |
| バイオメカニクス | 山田 哲 | スポーツバイオメカニクス |
| スポーツ教育学 | 横山 剛士 | 身体教育学 |
| 運動神経科学 | 木村 岳裕 | 身体運動科学、神経生理学、スポーツ科学 |

★

- 注1 希望する指導教員に選択すべき専門科目について確認すること等のために、事前に連絡することが望ましい。
- 2 氏名欄右の☆は、令和7（2025）年3月に退職予定の教員、★は、令和8（2026）年3月に退職予定の教員です。

(4) 国際学専攻

| プログラム・コース | 担当教員 | 専門分野 | |
|---------------------|-------------------|--|---|
| 国際関係・地域研究 コース | 石黒 盛久 | 政治思想、ルネサンス文化史、西洋近世史 | |
| | 古泉 達矢 | 中国近現代史、イギリス帝国史、香港史 | ※ |
| | 塚脇 真二 | 海洋地質学、堆積学、地域地質学、環境動態解析、文化財科学 | |
| | 中野 涼子 | 国際関係論、東アジア国際政治、日本近代思想 | ※ |
| | 弁納 才一 | 中国社会経済史 | ☆ |
| | 山口 善成 | 初期アメリカ文学、文化研究 | ※ |
| | 山本 卓 | イギリス文学、太平洋文学、ポストコロニアリズム批評 | ※ |
| | アベ・デイヴィッド | 文化人類学・民俗学、Japanese American | ※ |
| | 加藤 篤行 | 応用計量経済学、国際経済学、生産性分析、貿易と成長 | ※ |
| | 久保 拓也 | アメリカ文学、ジェンダー学(男性学)、文学一般 | ※ |
| | 久保 豊 | 映画学、クィア・スタディーズ | ※ |
| | フォックス・セナン | 国際関係論、東アジア国際政治史、東アジアにおける海洋問題 | ※ |
| | ママードゥア・アイーダ | ユネスコ世界遺産、エコパーク、ジオパークにおける世代間対話、環境教育 | ※ |
| | 南 コニー | 日本社会文化論、比較ジェンダー学、ヨーロッパ文学 | |
| | 和田 一哉 | 開発経済学 | |
| | 岡本 宜高 | 現代史、イギリス外交史、ヨーロッパ国際関係史 | ※ |
| | テーレン・ティモ | Cultural Anthropology、Japanese Studies、Media Tourism | |
| | 渡辺 敦子 | 国際関係論、思想史、人文地理学 | |
| | 渡辺 達雄 | 教育社会学 | |
| ワラシー・カシム | 紛争後の平和構築、民主化、国家建設 | ※ | |
| 日本語教育・日本文化 研究コース | 市嶋 典子 | 日本語教育 | |
| | 太田 亨 | 対照研究、専門日本語教育 | |
| | 清水 邦彦 | 日本文化、日本民俗学、日本思想史 | |
| | ビットマン・ハイコ | スポーツ科学、思想史 | |
| | 深川 美帆 | 第二言語習得、日本語教育 | |
| | 山本 洋 | 日本近世文学、日本近世史、留学生教育 | |

注1 氏名欄右の※は、英語による授業科目の担当教員です。

2 氏名欄右の☆は、令和7(2025)年3月に退職予定の教員、★は、令和8(2026)年3月に退職予定の教員です。

金沢大学大学院人間社会環境研究科入学試験場案内略図



金沢大学大学院人間社会環境研究科へのアクセス

【路線バス利用】(北陸鉄道バス利用の場合)

J R 金沢駅兼六園口(東口)から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行き乗車、「金沢大学(終点)」下車、徒歩1分(人間社会第1講義棟まで)

※「金沢大学中央」で下車した場合は、徒歩約5分(バス所要時間約40分)

【タクシー利用】

J R 金沢駅兼六園口(東口)から約30分

問合せ先

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学人間社会系事務部学生課入試・学生募集係

T E L 076 (264) 5600~5602

F A X 076 (234) 4167

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト

<http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

